

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	大和川沿川整備事業				事業番号	019-104	
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車環境整備		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出		
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度					
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)			目標値	50.0%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.2		
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	－					
			無	現状値	－			目標値	－	
2	関連計画			堺市自転車利用環境計画<追補版>-重点アクションプラン- 堺市かわまちづくり計画、都市再生整備計画						
3	事業開始年度			令和 1 年度			終了(予定)年度		令和 6 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			道路法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民（約83万人）及び市外からの利用者（不特定多数）							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	大和川左岸沿川において、阪神高速大和川線や高規格堤防事業により生み出された敷地を利活用し、安全・快適な自転車・歩行者の通行環境を整備する。また、阪堺線大和川停留場付近においては、安全な自転車利用の促進と自転車利用者の裾野拡大を目的として、サイクルポート機能と体験型自転車教育機能等を有した賑わい創出施設を民間等事業者と連携して整備する。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	令和2年度：自転車通行環境整備及び自転車賑わい拠点の整備にかかる詳細設計 令和3年度：自転車通行環境整備工事（850m）、自転車賑わい拠点（基盤整備工事、民間等事業者の公募・選定）							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	請負業者							
10	公民連携・協働事業	—							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度
沿川における自転車通行平均台数	台/日	目標値	—	—	—	1,500
		実績値	—	—		
		達成率	—	—		
11 当該指標を選定した理由	自転車利用者の裾野拡大の状況を把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	大和川沿川の5か所に観測地点を設定して自転車通過交通量を計測し、大和川沿川（堺市側）の交通量の平均値が約550台／日であったため、最大であった地点の交通量約1,500台／日を目標値としている（平成30年9月16日調査）。なお、自転車通行環境整備工事が令和5年度末に完了予定のため、自転車通過交通量の調査は令和6年度に予定している。					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	m	目標値	—	—	1,850	
		実績値	—	—		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由	各年度における整備状況を把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	予算化された額と整備箇所の想定単価から算出。（自転車通行環境整備工事は令和3年から実施）					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	大和川沿川整備事業	事業番号	019-104
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						(単位：千円)
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳	事業費 (a)	0	0	90,261	60,143	686,179
	国支出金			2,585	2,585	301,515
	府支出金					
	市債			55,555	37,000	325,898
	その他 (R2:大和川線事業負担金 R3:はなみどり基金繰入金)			2,961	3,191	10,640
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源			29,160	17,367	48,126
14	人件費 (b)	0	0	24,600	24,600	24,600
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	114,861	84,743	710,779

事業費の内訳										(単位：千円)			
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費		うち 一般財源	項 目	年度		事業費		うち 一般財源
		大和川沿川通行環境整備詳細ほか設計業務	R2	決算	33,989	3,098	踏切改良等整備工事	R2	決算	0	0		
			R3	予算	0	0		R3	予算	122,000	8,060		
		我孫子道 3号踏切道改良に係る設計協定書	R2	決算	11,605	11,605	沿川通行環境整備工事	R2	決算	0	0		
			R3	予算	0	0		R3	予算	198,640	6,880		
		大和川沿川通行環境整備詳細ほか設計業務に伴う測量業務	R2	決算	6,662	762	事業者募集要項作成及び公募選定支援業務	R2	決算	0	0		
			R3	予算	0	0		R3	予算	16,000	3,200		
		松屋大和川 1 0 1 号線ほか通行環境詳細設計業務ほか	R2	決算	7,411	1,426	自転車体験等施設詳細設計業務	R2	決算	0	0		
			R3	予算	20,539	1,573		R3	予算	20,000	400		
		遠里小野砂道 1 号線ほか道路整備ほか工事	R2	決算	0	0	その他（消耗品など）	R2	決算	476	476		
R3	予算		309,000	28,013	R3	予算		0	0				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分	単位	令和元年度	令和2年度	
	① 未利用地の整備延長	m	－	－	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	－	－	
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
備考 (算出についての説明等)		令和元年度、令和2年度について整備工事を実施していないため、算出できない。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和2年度は、自転車通行環境整備及び自転車賑わい拠点の整備の元となる詳細設計業務を実施しており、令和5年度末の整備完了に向けて計画的に進めていることから、費用対効果は高いと考えている。
KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)	
19	令和2年度は、自転車通行環境整備及び自転車賑わい拠点整備の詳細設計業務を実施しており、令和5年度末の整備完了に向けて計画的に進めていることから、基本計画のKPI達成に向けて寄与していると考えている。